

2019年11月20日

復興デザイン会議
復興研究論文賞 審査委員長
原田昇（東京大学教授）

復興デザイン会議 第1回全国大会「復興研究論文賞」受賞者決定について

12月7日8日に東京大学で開催される復興デザイン会議第1回全国大会の「復興研究論文賞」受賞者6名を決定いたしました。

<受賞者>

最優秀論文賞：乾康代、牧紀男（京都大学）

優秀論文賞：鈴木さち（UNESCO）、萩原拓也（東京大学）

奨励論文賞：益子智之（早稲田大学）、渡邊萌（熊本大学）

復興研究論文賞は災害復興および事前復興に関わる学術的な理論の構築、知見や技術の体系化、研究方法論の確立などに顕著な貢献をなしたと認められる個人を表彰する賞です。自薦・他薦合わせて27名の応募があり、以下の11名の審査委員による厳正な審査によって最優秀論文賞、優秀論文賞（35歳未満）、奨励論文賞（学生）を決定いたしました。

審査委員長：原田昇（交通計画）

審査委員：大月敏雄（建築計画）、小林祐司（避難行動）、菊池雅彦（復興計画）、佐藤慎司（海岸計画）、田島芳満（海岸工学）、田中貴宏（都市計画）、羽藤英二（都市計画）、本田利器（地震工学）、円山琢也（交通計画）、森脇亮（環境工学）

表彰式は12月7日（土）に東京大学本郷キャンパス工学部1号館にて「U-30 復興デザインコンペ」および「復興政策賞・復興計画賞・復興設計賞」と同時に行います。

主催：復興デザイン会議全国大会実行委員会
事務局：東京大学復興デザイン研究体
復興研究論文賞担当：小野悠（ono.haruka@ace.tut.ac.jp）
大会HP：http://bin.t.u-tokyo.ac.jp/dss/symposium_1.html